

---

# 学校教育

---

1	重点目標	P12
2	小中学校現況	P12
3	小中一貫教育	P21
4	学校給食	P23
5	保護者支援制度	P24

---



➤ 1 重点目標

- 1 学びの連続性を重視した学力向上の取組み
- 2 小学校外国語の先進的取組み
- 3 地域や学校運営協議会、高校、大学との連携・協力
- 4 学習環境の整備と義務教育学校構想
- 5 当別らしい食育の展開

※詳細は、P6「当別町教育推進計画」参照

➤ 2 小中学校現況

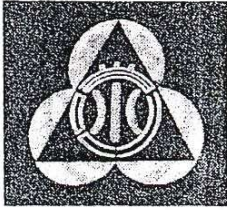
1 児童生徒・教職員数及び施設の概況

平成30年5月1日現在

区分 学校名		学級数 (学級)		児童生徒数 (人)								教職員数 (人)					
		普通	特別 支援	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特別 支援	計	校 長	教 頭	教 諭	養 護 教 諭	事 務 職 員	栄 養 教 諭
1	当別小学校	11	4	35	39	56	59	45	71	8	313	1	1	22	1	2	1
2	西当別小学校	11	2	42	32	49	50	42	44	7	265	1	1	16	1	1	
小 学 校 計		22	6	77	71	105	109	87	115	15	578	2	2	38	2	3	1
1	当別中学校	6	2	64	67	77				4	212	1	1	16	1	1	
2	西当別中学校	6	2	44	50	53				3	150	1	1	13	1	1	
中 学 校 計		12	4	108	117	130				7	362	2	2	29	2	2	
合 計		34	10							22	940	4	4	67	4	6	1

2 各学校概況

当別小学校 (中学校併設型小学校)

校章・所在地	 <p>〒061-0222 北海道石狩郡当別町元町 102 番地 電話：0133-23-2102 FAX：0133-23-3760</p> <p><b>【校章の意味】</b> 中央に当別小の文字。3つの輪は考える〈智〉、明るい〈徳〉、元気な〈体〉の調和を表す。</p>																																																																												
校歌	<p>一 紫雲にけぶる 阿蘇の山 麓をめぐる当別の 流れつきせぬ 学びやに 至誠の華は香るなり</p> <p>二 由緒も深き 開拓の 先人の意気しのびつつ 心をつくし 身をつくし 誠の道にはげみなん</p> <p>作曲 末武 義雄 作詞 大橋 義涉</p>																																																																												
沿革の概要	<table border="0"> <tr> <td>明治 5年</td> <td>鮎田如牛が当別町において開塾</td> <td>平成 7年</td> <td>学校給食開始</td> </tr> <tr> <td>6年</td> <td>「当別教育所」と改称</td> <td>12年</td> <td>コンピュータ教室設置</td> </tr> <tr> <td>39年</td> <td>校舎現在地移転</td> <td>14年</td> <td>開校130周年記念写真集作成</td> </tr> <tr> <td>43年</td> <td>北海道庁官より教育の侯に対し選賞</td> <td></td> <td>石狩管内教育機器連盟研究大会開催</td> </tr> <tr> <td>大正 9年</td> <td>校舎新築</td> <td>16年</td> <td>石狩管内教育実践奨励表彰受賞</td> </tr> <tr> <td>昭和 22年</td> <td>6・3制により「当別小学校」と改称</td> <td></td> <td>ことばの教室が通級指導教室となる</td> </tr> <tr> <td>39年</td> <td>特殊学級「いなほ」1学級認可</td> <td>17年</td> <td>オヤジの会発足</td> </tr> <tr> <td>41年</td> <td>石狩教育研究会特別活動中心校指定</td> <td>24年</td> <td>体育館改築</td> </tr> <tr> <td></td> <td>プール完成（当別学校プール1号）</td> <td></td> <td>開校140周年記念事業 （全校集合写真・記念バザー・ 記念集会・記念誌作成）</td> </tr> <tr> <td>44年</td> <td>体育館完成</td> <td>27年</td> <td>電子黒板・書画カメラ設置</td> </tr> <tr> <td>47年</td> <td>新校舎完成、落成式挙行政</td> <td></td> <td>当教研学校課題研究発表会</td> </tr> <tr> <td></td> <td>開校100周年記念式典挙行政、 記念公開研究会開催、 記念事業協賛会より中庭造成寄贈</td> <td>28年</td> <td>弁華別小学校閉校により本校に統合</td> </tr> <tr> <td>52年</td> <td>学校基本調査について文部大臣表彰</td> <td>29年</td> <td>小中一貫教育開始</td> </tr> <tr> <td>53年</td> <td>学校の教育目標改訂</td> <td></td> <td>全国書道コンクール団体優勝 （17年連続28回目）</td> </tr> <tr> <td>57年</td> <td>創立110周年記念式典挙行政、 PTA記念事業により遊具施設設置</td> <td></td> <td>全国学生書道展覧会団体優勝 （23年連続33回目）</td> </tr> <tr> <td>58年</td> <td>石狩地区小学校放送教育研究指定校</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>59年</td> <td>石狩管内教育実践表彰受賞</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>石狩地区小中学校放送教育研究大会開催</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>63年</td> <td>「ことばの教室」1学級認可</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	明治 5年	鮎田如牛が当別町において開塾	平成 7年	学校給食開始	6年	「当別教育所」と改称	12年	コンピュータ教室設置	39年	校舎現在地移転	14年	開校130周年記念写真集作成	43年	北海道庁官より教育の侯に対し選賞		石狩管内教育機器連盟研究大会開催	大正 9年	校舎新築	16年	石狩管内教育実践奨励表彰受賞	昭和 22年	6・3制により「当別小学校」と改称		ことばの教室が通級指導教室となる	39年	特殊学級「いなほ」1学級認可	17年	オヤジの会発足	41年	石狩教育研究会特別活動中心校指定	24年	体育館改築		プール完成（当別学校プール1号）		開校140周年記念事業 （全校集合写真・記念バザー・ 記念集会・記念誌作成）	44年	体育館完成	27年	電子黒板・書画カメラ設置	47年	新校舎完成、落成式挙行政		当教研学校課題研究発表会		開校100周年記念式典挙行政、 記念公開研究会開催、 記念事業協賛会より中庭造成寄贈	28年	弁華別小学校閉校により本校に統合	52年	学校基本調査について文部大臣表彰	29年	小中一貫教育開始	53年	学校の教育目標改訂		全国書道コンクール団体優勝 （17年連続28回目）	57年	創立110周年記念式典挙行政、 PTA記念事業により遊具施設設置		全国学生書道展覧会団体優勝 （23年連続33回目）	58年	石狩地区小学校放送教育研究指定校			59年	石狩管内教育実践表彰受賞				石狩地区小中学校放送教育研究大会開催			63年	「ことばの教室」1学級認可		
明治 5年	鮎田如牛が当別町において開塾	平成 7年	学校給食開始																																																																										
6年	「当別教育所」と改称	12年	コンピュータ教室設置																																																																										
39年	校舎現在地移転	14年	開校130周年記念写真集作成																																																																										
43年	北海道庁官より教育の侯に対し選賞		石狩管内教育機器連盟研究大会開催																																																																										
大正 9年	校舎新築	16年	石狩管内教育実践奨励表彰受賞																																																																										
昭和 22年	6・3制により「当別小学校」と改称		ことばの教室が通級指導教室となる																																																																										
39年	特殊学級「いなほ」1学級認可	17年	オヤジの会発足																																																																										
41年	石狩教育研究会特別活動中心校指定	24年	体育館改築																																																																										
	プール完成（当別学校プール1号）		開校140周年記念事業 （全校集合写真・記念バザー・ 記念集会・記念誌作成）																																																																										
44年	体育館完成	27年	電子黒板・書画カメラ設置																																																																										
47年	新校舎完成、落成式挙行政		当教研学校課題研究発表会																																																																										
	開校100周年記念式典挙行政、 記念公開研究会開催、 記念事業協賛会より中庭造成寄贈	28年	弁華別小学校閉校により本校に統合																																																																										
52年	学校基本調査について文部大臣表彰	29年	小中一貫教育開始																																																																										
53年	学校の教育目標改訂		全国書道コンクール団体優勝 （17年連続28回目）																																																																										
57年	創立110周年記念式典挙行政、 PTA記念事業により遊具施設設置		全国学生書道展覧会団体優勝 （23年連続33回目）																																																																										
58年	石狩地区小学校放送教育研究指定校																																																																												
59年	石狩管内教育実践表彰受賞																																																																												
	石狩地区小中学校放送教育研究大会開催																																																																												
63年	「ことばの教室」1学級認可																																																																												
教育目標	<p>一人一人の子どもを大事にし、大事にされ合う人間関係の中で、平和で幸福な社会の担い手として、小中9年間を見通した心身の調和のとれた人間性豊かな子どもを育てる。</p> <p>◇ 知性をみがく子ども (よく考える子ども) 〈知〉 ◇ 心豊かな子ども (心のゆたかな子ども) 〈情〉 ◇ 意志の強い子ども (さいごまでやりぬく子ども) 〈意〉 ◇ からだのじょうぶな子ども (強いからだの子ども) 〈体〉</p>																																																																												

<p>経営の重点</p>	<p>◎知・徳・体の教育活動をバランスよく実施し、総合的に子供たちを伸ばす  ○学び方を身に付け、思いやりの心を持った心身ともに健康な子  ◆ ドリカムプロジェクトによる確かな学力の定着・向上（かしこく）  ◆ 個々を伸ばし、豊かな人間性・社会性の育成（やさしく）  ◆ 命を育む健康・体力の増進、安全教育の推進（たくましく）</p>																																													
<p>研究主題</p>	<p>《 研 究 主 題 》  生き生きと学び、表現できる児童・生徒の育成  ～学びの連続性と指導の継続性を重視して～</p>																																													
<p>特色ある教育活動</p>	<p><b>1 確かな学力の定着・向上の取組</b>  「基礎学力」と「続ける力」を育てるドリカムプロジェクトにより、絶対に身に付けさせる基礎学力を明確化し、全学級で共通した取組を行う。</p> <p><b>2 小中9年間を見通した小中一貫教育の取組</b>  小中で目指す児童生徒像の共有化を図りながら、9年間を見通した指導計画の作成、小中合同研修会の開催、乗り入れ授業等の取組を行う。</p> <p><b>3 読書活動の推進</b>  朝読書（全校一斉）をはじめ、読み聞かせ・読み語りのボランティアの協力も得ながら読書に親しませることによって、豊かな心を育て、確かな学力の基盤を整える。</p> <p><b>4 書道教育の推進</b>  週1回の朝書道では、筆ペンや硬筆で名前や名文を練習する。また、毎月「書道の週間」を設け、全校一斉に書道に親しむ活動を行う。</p>																																													
<p>学級編制</p>	<p style="text-align: right;">平成30年5月1日現在</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>学年</td> <td>1年</td> <td>2年</td> <td>3年</td> <td>4年</td> <td>5年</td> <td>6年</td> <td>特別支援学級</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>学級数</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>男子</td> <td>14</td> <td>20</td> <td>25</td> <td>28</td> <td>22</td> <td>32</td> <td>6</td> <td>147</td> </tr> <tr> <td>女子</td> <td>21</td> <td>19</td> <td>31</td> <td>31</td> <td>23</td> <td>39</td> <td>2</td> <td>166</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>35</td> <td>39</td> <td>56</td> <td>59</td> <td>45</td> <td>71</td> <td>8</td> <td>313</td> </tr> </table>	学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	合計	学級数	1	2	2	2	2	2	4	15	男子	14	20	25	28	22	32	6	147	女子	21	19	31	31	23	39	2	166	合計	35	39	56	59	45	71	8	313
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	合計																																						
学級数	1	2	2	2	2	2	4	15																																						
男子	14	20	25	28	22	32	6	147																																						
女子	21	19	31	31	23	39	2	166																																						
合計	35	39	56	59	45	71	8	313																																						
<p>教職員</p>	<p style="text-align: right;">平成30年5月1日現在</p> <p>校長 渡 邊 久 徳  教頭 關 口 涼</p> <p>教職員数 教諭22名 養護教諭1名 栄養教諭1名 事務職員2名  非常勤講師1名 小中一貫教育推進講師1名 特別支援学級介助員1名  特別支援教育支援員2名 事務嘱託員1名 学校管理人1名</p>																																													

# 当 別 中 学 校 (小学校併設型中学校)

校章・所在地



〒061-0205  
 北海道石狩郡当別町下川町 125 番地  
 電話：0133-23-2158 FAX：0133-23-2956

**【校章の意味】**

当の大文字で囲み、全体を雪の結晶とし、たくましく生きる力を表す。

校歌

<p style="text-align: center;">三 開拓の祖 遠くして 愛と真の 血を伝う 男子女子 手を執りて 結ぶ友垣 誇りあり 吾ら讃えん ああ我が郷土</p>	<p style="text-align: center;">二 白雪映える 阿蘇岩の 高嶺に想う あけくれば 真理さわめて らんまんの 花咲かせてん 念願あり 文化の殿堂 ああ我が学舎</p>	<p style="text-align: center;">一 緑風匂う 石狩の 愛の園生に 生い立ちて 光あたらしき 日の本の 使命に生きん 祈りあり 平和の先駆 ああ我が学友</p> <p style="text-align: right;">作詞 井上 治雄 作曲 藤 定一</p>
--	---	---

沿革の概要

<p>昭和 22年 当別村立当別中学校が開校                  校章制定                  25年 校歌制定                  独立校舎に移転(旧競馬場跡)                  27年 中小屋分校が独立                  30年 三番川、四番川分校が本校の分校になる                  32年 同窓会発足                  開校10周年記念式典                  33年 三番川、四番川分校が独立                  36年 当別川が氾濫し校舎床上浸水                  41年 ときわ学級開設(特殊学級)                  42年 開校20周年合同記念式典                  44年 牛乳給食開始                  新校舎完成竣工・移転完了                  48年 スクールバス運行開始                  52年 開校30周年記念式典                  58年 校舎改築工事                  平成 4年 石狩管内教育実践奨励賞受賞                  8年 学校給食開始                  9年 スクールカウンセラー配置</p>	<p>平成 9年 当別中学校開校50周年記念式典                  15年 第3回東日本学校吹奏楽コンクール金賞(C編成)                  17年 除雪ボランティア善行顕彰を受賞                  19年 石教研学校課題研究発表                  20年 剣道部女子全道大会出場                  21年 相撲部全道大会準優勝、                  剣道部女子全道大会出場                  22年 相撲部全道大会準優勝                  当別町140年記念パレード、                  記念式典参加                  23年 校舎・体育館耐震化工事完了                  バックネットの改修工事完了                  24年 JR学園都市線電化開業記念イベント参加                  25年 東生徒トイレ改修                  26年 西生徒トイレ改修                  27年 電子黒板・書画カメラ設置                  28年 弁華別中学校閉校により本校に統合                  29年 小中一貫教育開始                  剣道部全道新人戦準優勝</p>
--	--

教育目標

- ◇ 真剣に学び 自己を高めよう 【知】
- ◇ 協力しあい 責任ある行動をとろう 【徳】 精神
- ◇ 自ら実行し 最後までやりぬこう 【意】 「優しく 強く」
- ◇ 美しいものに感動できる豊かな心をもとう 【徳】 (昭和63年制定)
- ◇ 身体を鍛え たくましくなろう 【体】

<p>経営の重点</p>	<p>【主体性を育み、9年間を見据えた確かな学力の定着と向上を図る】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 小中一貫の考えに立ち、9年間を見通した学習指導の充実</li> <li>◆ 基礎・基本習得と課題解決に向け「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善</li> <li>◆ 生徒一人ひとりの学習状況を的確に捉え、個に応じたきめ細かな指導の充実</li> <li>◆ 個々のニーズに応じた特別支援教育の充実</li> </ul> <p>【自主・自立を身に付け、豊かな人間性・社会性の育成を図る】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 挨拶、言葉遣い、マナーなど、基本的な生活習慣の徹底、自己指導能力の育成</li> <li>◆ 道徳指導の充実、内面に迫る道徳性を育てた自尊感情・自己肯定感の育成</li> <li>◆ いじめ・不登校未然防止・早期解決、寄り添う生徒指導に努めた情報の共有化</li> <li>◆ 児童会との連携、体験活動・ボランティア活動の充実と地域発進力の強化</li> </ul> <p>【命を育む健康・体力の増進、安全教育の推進を図る】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 小中一貫の考えに立った児童生徒の体力の実態把握と体力向上の取組</li> <li>◆ 食育の授業や健康相談などを通じた健康教育の推進</li> <li>◆ 様々な危険を予測し、回避力を育成する安全・防犯指導及び訓練の実施</li> </ul>																														
<p>研究主題</p>	<p>《 学 校 課 題 》 自ら進んで主体的に活動する生徒の育成</p> <p>《 研 究 主 題 》 「生き生きと学び、表現できる生徒の育成」 ～ 学びの連続性と指導の系統性を重視して ～</p>																														
<p>特色ある教育活動</p>	<p>(1) 数学、理科、英語でTT・少人数学習・習熟度別授業を実施</p> <p>(2) 全校的に日常の朝読書・自習、週末課題への取り組み、放課後学習会、補習の実施</p> <p>(3) 総合的な学習の時間では「生き方を求めて」を共通テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1年生 ～ 農業体験（ジャガイモの栽培）</li> <li>○ 2年生 ～ 職場体験学習（2日間）</li> <li>○ 3年生 ～ 当別を知る</li> </ul> <p>(4) 体育ではスキー学習、武道等で地域の特性を生かした授業の実施</p> <p>(5) 部活動については体育系6部、文化系3部</p> <p>(6) 町内の各種催事で吹奏楽部が演奏</p> <p>(7) 小中一貫教育（小学校登校、乗り入れ授業、合同集会、小中交流会、部活動体験、合同研修）やコミュニティー・スクールの活用</p>																														
<p>学級編制</p>	<p style="text-align: right;">平成30年5月1日現在</p> <table border="1" data-bbox="277 1532 1161 1720"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>特別支援学級</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学級数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>男子</td> <td>33</td> <td>36</td> <td>36</td> <td>4</td> <td>109</td> </tr> <tr> <td>女子</td> <td>31</td> <td>31</td> <td>41</td> <td>0</td> <td>103</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>64</td> <td>67</td> <td>77</td> <td>4</td> <td>212</td> </tr> </tbody> </table>	学年	1年	2年	3年	特別支援学級	合計	学級数	2	2	2	2	8	男子	33	36	36	4	109	女子	31	31	41	0	103	合計	64	67	77	4	212
学年	1年	2年	3年	特別支援学級	合計																										
学級数	2	2	2	2	8																										
男子	33	36	36	4	109																										
女子	31	31	41	0	103																										
合計	64	67	77	4	212																										
<p>教職員</p>	<p style="text-align: right;">平成30年5月1日現在</p> <p>校長 武岡 則夫 教頭 小森 享</p> <p>教職員数 教諭16名 養護教諭1名 事務職員1名 非常勤講師2名 一貫教育推進講師1名 特別支援教育支援員2名 事務嘱託員1名 学校管理人1名</p>																														

# 西 当 別 小 学 校 (中学校併設型小学校)

校章・所在地



〒061-3776  
 北海道石狩郡当別町太美町 1481 番地  
 電話 : 0133-26-2170 FAX : 0133-26-2813

**【校章の意味】**

雪のように清らかに、鏡のように曇りなき心身の発達成長への願いを表す。

校歌

<p>三 夕雲遠く しずまりて 阿蘇岩山に あかねさす われらはのぞみ もやしあい 育つよ育つ すこやかに 西当別の小学校</p>	<p>二 緑の原を つらぬきて 石狩川の 水清し われらはともに 手を結び 進むよ進む ひとすじに 西当別の小学校</p>	<p>一 青き手稲の かがやけば 豊かなる野に 風かおる われらはあした 集い来て 学ぶよ学ぶ さわやかに 西当別の小学校</p> <p style="text-align: right;">作詞 坂本 作曲 津田 甫亮</p>
---	---	--

沿革の概要

- |   |   |
|---|---|
| <p>昭和26年 獅子内小学校・太美小学校が合併し<br/>西当別小学校設立<br/>新校舎落成・移転<br/>校章制定</p> <p>27年 西当別小学校校歌制定</p> <p>32年 校舎増築、屋内体育館完成</p> <p>36年 開校10周年記念式挙行</p> <p>46年 開校20周年記念式挙行</p> <p>48年 増築校舎完成(理科室・準備室、視聴覚室、<br/>放送室、保健室)</p> <p>50年 北海道小中学校放送教育研究大会開催</p> <p>56年 開校30周年記念式・祝賀会</p> <p>57年 新校舎完成(普通教室4・音楽室・理科室)</p> <p>58年 新体育館落成式・祝賀会</p> <p>62年 開校記念日指定・祝賀会</p> <p>平成元年 グラウンド改修工事</p> <p>3年 高岡小学校本校へ統合</p> <p>6年 増築校舎落成式・祝賀会</p> <p>7年 プレハブ校舎4教室完成</p> <p>8年 増築校舎完成式<br/>(普通教室8・音楽室・図工室)</p> <p>9年 「たんぼ学級」設置</p> <p>13年 新学校教育目標制定<br/>開校50周年記念式・祝賀会</p> | <p>平成14年 視聴覚室改修</p> <p>15年 児童図書管理コンピューター化</p> <p>16年 ハマナス50本植樹<br/>(朝日新聞社より寄贈)</p> <p>18年 文部科学省指定の「小中連携事業」<br/>開始(2か年)</p> <p>19年 国際理解教育開始(ALTとの学習)<br/>JICA 研修員学校訪問(アフリカ諸国より)</p> <p>22年 当別町青少年善行賞受賞<br/>(リングブル・エコキャップ収集)<br/>当別町140年記念パレード見学、<br/>記念式典参加(5年生)</p> <p>23年 大崎市へ震災復興激励の横断幕の送付</p> <p>24年 JR電化祝賀式典参加</p> <p>26年 西当別地区プレイハウスが西当別<br/>小学校内へ移転</p> <p>27年 電子黒板・書画カメラ設置</p> <p>28年 小中一貫教育推進教師配置<br/>(西当別中学校と兼務)<br/>JICA 研修員学校訪問(アフリカ諸国より)<br/>レクサンド市教育委員会視察団訪問</p> <p>29年 小中一貫教育開始<br/>旧校舎屋根改修工事<br/>西当別コミュニティスクール開始</p> |
|---|---|

教育目標

- |           |       |             |
|-----------|-------|-------------|
| ◇ 心ゆさぶる感性 | 〈心〉   | ・のびのび語り合う子  |
| ◇ 学び求める知性 | 〈学び〉  | ・ぐんぐん学び合う子  |
| ◇ 生き方が個性  | 〈生き方〉 | ・もりもりきたえ合う子 |
- [平成13年3月改定]



<p>経営の重点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 確かな学びづくり 基礎・基本的事項の確実な習得を徹底した学力の向上</li> <li>◆ 豊かな心づくり 「挨拶」を起点にした心の教育の充実</li> <li>◆ 健やかな体づくり 体力の向上と健康安全教育の推進</li> <li>◆ 小中一貫教育の推進</li> <li>◆ 一人ひとりを大切にした特別支援教育の充実</li> </ul>																																													
<p>研究主題</p>	<p>《 重点目標 》 「進んで学び、高め合う、心豊かでたくましい児童の育成」</p> <p>《 研究主題 》 「自らの考えを深め、表現できる子どもの育成」 ～算数科における学習過程の工夫の実践～</p>																																													
<p>特色ある教育活動</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 <b>基礎・基本を大切に確かな学力を身に付ける学習指導</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1～3年は国語と算数、3～6年は算数の時間にTT・習熟度別少人数指導を実施</li> <li>・ 全校一斉に毎朝「朝読書」「ドリルタイム」に取り組む</li> <li>・ 学生ボランティアSATを活用した授業の実施</li> <li>・ 小中一貫教育推進講師の活用（算数、理科、英語）</li> <li>・ 授業改善チームの有効な活用</li> </ul> </li> <li>2 <b>地域の人材を活用した学習支援活動（ときめきバンク・学校支援地域本部事業ボランティア）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 様々な教科や特別活動、総合学習の時間などに「ときめきバンク」（人材バンク）に登録している人材の活用</li> </ul> </li> <li>3 <b>NPOと取り組む環境教育</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ NPOの協力を得て、環境教育に積極的に取り組む（5年「道民の森」での学習など）</li> </ul> </li> <li>4 <b>活発に行われる読書活動</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全校一斉の「朝読書」、11月の読書月間、地域ボランティアによる本の読み聞かせなど、読書活動を通して豊かな心を養い、国語力向上を目指した取り組み</li> </ul> </li> <li>5 <b>生き生きと展開する児童会活動</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 思いやりの心を育て、児童相互のふれあいを大切にした「ふれあい集会」</li> <li>・ リングプル回収運動による福祉施設への車いす寄贈、児童会が主体的に計画運営する「西小タイム」、西当別中と連携した環境活動「クリーン作戦」</li> </ul> </li> <li>6 <b>基本的な生活習慣や子どもの生きる力を育てる幼保小中連携事業の充実・発展</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育所園児の学校体験会、1年生との交流活動</li> <li>・ 6年生の中学校訪問、授業体験</li> <li>・ 小中合同クリーン作戦、芸術鑑賞会、いじめ集会など合同行事の開催</li> </ul> </li> </ol>																																													
<p>学級編制</p>	<p style="text-align: right;">平成30年5月1日現在</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>4年</th> <th>5年</th> <th>6年</th> <th>特別支援学級</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学級数</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>男子</td> <td>21</td> <td>12</td> <td>26</td> <td>23</td> <td>27</td> <td>24</td> <td>5</td> <td>138</td> </tr> <tr> <td>女子</td> <td>21</td> <td>19</td> <td>23</td> <td>27</td> <td>15</td> <td>20</td> <td>2</td> <td>127</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>42</td> <td>31</td> <td>49</td> <td>50</td> <td>42</td> <td>44</td> <td>7</td> <td>265</td> </tr> </tbody> </table>	学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	合計	学級数	2	1	2	2	2	2	2	13	男子	21	12	26	23	27	24	5	138	女子	21	19	23	27	15	20	2	127	合計	42	31	49	50	42	44	7	265
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	合計																																						
学級数	2	1	2	2	2	2	2	13																																						
男子	21	12	26	23	27	24	5	138																																						
女子	21	19	23	27	15	20	2	127																																						
合計	42	31	49	50	42	44	7	265																																						
<p>教職員</p>	<p style="text-align: right;">平成30年5月1日現在</p> <p>校長 難波 雅 弘          教頭 藤井 康 博</p> <p>教職員数 教諭16名 養護教諭1名 事務職員1名 一貫教育推進講師1名          特別支援学級介助員1名 特別支援教育支援員1名 事務嘱託員1名          学校管理人1名</p>																																													

# 西 当 別 中 学 校 (小学校併設型中学校)

校章・所在地



〒061-3772  
 北海道石狩郡当別町獅子内 5134 番地 1  
 電話：0133-26-2252 FAX：0133-26-2412

**【校章の意味】**

六角形の雪の結晶に、西当の文字を図案化し、中の字の周りに配する。

校歌

四 大いなる 恵の朝 われら今 光を受けて 踏み分けん 真の長道 西当別 われらのふるさと	三 涼風は 垂穂にそよぎ 行く水は 広野うるほす 豊けしや みのりの里わ 西当別 われらのふるさと	二 緑なす 森の梢に 先人の 功徳びつ 集い合う 若人われら 西当別 われらのふるさと	一 石狩の 潮騒遠く 夕映えの 広ごるほとり 厳かしく 立てる学び舎 西当別 われらのふるさと
作詞・作曲 倉島 繁			

沿革の概要

昭和 22年 23年 25年 26年 31年 32年 38年 42年 43年 46年 49年 51年 52年 54年 56年 57年 平成 4年 8年 9年 11年 12年	獅子内小に併置開校 当別町制施行町立に 校章制定、独立校舎落成 高岡分校設置 旧校歌制定 体育館落成 開校10周年式典 高岡分校独立 開校20周年式典 高岡中学校統合 町プール校地に設置 スクールバス運行 石狩管内教育実践奨励賞受賞 開校30周年式典 体育館落成 新校舎落成記念式典 校舎落成記念植樹 グランド完成 学校週5日制開始 学校給食完全実施、事務補配置 全国スキー大会回転優勝(豊島堅太) 開校50周年式典・スウェーデン訪問 全道剣道大会3位(菊池麻耶) 増築校舎完成 町P連研究大会(本校PTA主管)	平成 13年 14年 15年 16年 17年 18年 19年 20年 21年 22年 23年 25年 26年 27年 29年	特殊学級設置・10学級編制 全道新体操準優勝(岩倉 歩) 全道陸上砲丸投げ3位(山本竜太) 110mH 3位(寺尾瑞基) 全道新体操優勝(岩倉 歩) 全道水泳 50m自由形3位、100m自由形 2位(太田千晶) 全国新体操準優勝(岩倉 歩) 全道ソフトボール大会3位 新教育目標設定 全道ソフトボール大会3位 18・19年度国立教育政策研究所委嘱 事業 小中連携教育実践研究指定校 当別町学校教育研究推進協議会学校 研究発表会 道「青少年の主張」大会優秀賞(萩原有希) 石狩管内教育実践奨励賞受賞 モンゴル国教育視察団訪問 ESD 日米教員交流団来校 当別町学校教育研究推進協議会学校 研究発表会 体育館大規模改修工事 旧校舎給水管改修工事 校務用生徒用パソコン更新 電子黒板・書画カメラ設置 小中一貫教育開始 開校70周年
--	--	--	--

教育目標

ここ西当別の大地で、

- ◇ 高い知性 (知)
- ◇ 強い意志 (徳)
- ◇ 健やかな体 (体)

を求め、自らの進路を切り拓こう

[平成17年2月制定]

<p>経営の重点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 実践力豊かな信頼される学校づくりの推進</li> <li>◆ 生徒の生きる力と自己実現を図る教育の推進</li> <li>◆ 基礎基本の確実な習得と自ら考え判断し表現する力を育む教育の推進</li> <li>◆ 豊かな心と健やかな体を培い、社会性を育む教育の推進</li> <li>◆ 共生を基盤とした豊かな人間性を育む教育の推進</li> <li>◆ 時代の要請や今日的な教育課題を踏まえ、新たな可能性を創造する教育の推進</li> <li>◆ 家庭、地域と連携し、地域と共に歩む教育の推進</li> <li>◆ 学校いじめ防止基本方針に基づく教育の推進</li> <li>◆ 小中一貫教育基本方針に基づく教育の推進</li> </ul>																														
<p>研究主題</p>	<p>《 学校課題 》  “知・徳・体”をバランスよく備えた15歳の生徒像の実現</p> <p>《 研究主題 》  「学習規律」を通して教職員の生徒に対する関わり方を「見える化」する  ～ 学習規律の一貫性を図りながら ～</p>																														
<p>特色ある教育活動</p>	<p>①朝読書      全学年年間を通した朝読書の実施</p> <p>②生徒会活動      いじめ撲滅の取り組み  ・ハッピースマイルプロジェクト（支え助け合う仲間づくり）の実践、  ・小中合同いじめ撲滅集会・撲滅宣言  ・一貫教育・CS連携事業  ・校区内小中合同クリーン作戦  ・挨拶運動</p> <p>③小中一貫教育      学校行事・部活動・児童生徒会の交流事業・小中交流会・新入生説明会  乗り入れ授業・合同研修など</p>																														
<p>学級編制</p>	<p style="text-align: right;">平成30年5月1日現在</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>特別支援学級</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学級数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>男子</td> <td>21</td> <td>31</td> <td>27</td> <td>2</td> <td>81</td> </tr> <tr> <td>女子</td> <td>23</td> <td>19</td> <td>26</td> <td>1</td> <td>69</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>44</td> <td>50</td> <td>53</td> <td>3</td> <td>150</td> </tr> </tbody> </table>	学年	1年	2年	3年	特別支援学級	合計	学級数	2	2	2	2	8	男子	21	31	27	2	81	女子	23	19	26	1	69	合計	44	50	53	3	150
学年	1年	2年	3年	特別支援学級	合計																										
学級数	2	2	2	2	8																										
男子	21	31	27	2	81																										
女子	23	19	26	1	69																										
合計	44	50	53	3	150																										
<p>教職員</p>	<p style="text-align: right;">平成30年5月1日現在</p> <p>校長 野村 誠  教頭 寺嶋 裕介</p> <p>教職員数      教諭13名   養護教諭1名   事務職員1名   学校管理人1名  非常勤講師2名   一貫教育推進講師1名   特別支援教育支援員2名  事務嘱託員1名   学校管理人1名</p>																														

### ➤ 3 小中一貫教育

#### 【授業における取組】

取組	取組内容	目的
グループセッション	小学校6年生と中学校1年生が、中学校における授業や生活について話し合う。	小学生に小中学校間の違いを学ばせたり、中学校生活のイメージを持たせたりすることで、進学に対する不安の解消を図る。
体験授業	小学校6年生による中学校の外国語の授業への参加や、小学生による中学校の部活動や行事の見学を行う。	
出前授業	中学校の教員が、小学校に出向いて授業を行う。	
小中一貫教育推進講師の配置	4名の小中一貫教育推進講師が小中学校を行き来して、算数、数学、外国語の授業を担当するほか、授業に係る教材研究や小中一貫教育通信の作成を行う。	

#### 【小学校外国語の先進的取組】

取組	取組内容	目的
新学習指導要領の完全実施（2年前倒し） ○1、2年生 10時間（町独自取組） ○3、4年生 35時間 ○5、6年生 70時間 （60分授業を週3回設定することによる外国語授業の時数確保）	1 外国語指導助手の増員配置 2 町独自の一貫教育推進英語講師の継続配置（3名年間1,037時間）	早い段階から外国語に慣れ親しむことで、世界で活躍できるツールとしての外国語を身につける。

#### 【各学校（学校区）の取組】

##### ○地域における取組

取組	取組内容	当別地区	西当別地区
学校運営協議会の開催	地域とともにある学校づくりを推進し、地域と学校が連携して小中一貫教育をサポートするため、学校関係者、保護者及び地域住民から選出された委員が協議を行う。	委員11名 年6回実施予定	委員21名 年4回実施予定
町広報による活動周知	コミュニティ・スクールの設置目的や活動内容を町広報に掲載し、活動内容を地域住民に周知する。	7月号掲載予定	6月号掲載予定
コミュニティ・スクールカレンダーの作成	コミュニティ・スクールの活動を地域住民に周知するため、学校、地域の行事を記載したカレンダーを作成し、地区全世帯に配布する。	平成31年度カレンダーを作成予定	

○児童生徒の取組

取組	取組内容	当別地区	西当別地区
小中合同芸術鑑賞	小学校で行われた芸術鑑賞に中学校の1年生が参加し、大人になった先輩の姿を小学生に見せることで、中学生への憧れを持たせることにつなげる。	9月実施予定	9月実施予定
いじめ撲滅集会の開催	児童生徒が教職員、保護者及び地域住民とともに「いじめ」「自殺防止」について考える集会を実施する。	7月実施予定	6月実施予定
クリーン作戦	学校間の連携を深めるとともに、児童・生徒に地域の一員であるという自覚を持たせることを目的に、小・中学生が一緒になって行う地域のゴミ拾いを実施する。	6月実施予定	5月実施予定

○教職員の取組

取組	取組内容	当別地区	西当別地区
小中教職員交流会	小・中学校の教職員が互いの授業を参観した後、指導方法の違いや児童生徒の様子等を交流し、小中一貫教育の取組について協議する。	○小中交流会(6月、12月実施予定)	○授業交流(年4回実施予定) ○小学校教員による中学校授業参観(7月実施予定) ○中学校教員による小学校授業参観(12月実施予定)
教職員研修の開催	夏季・冬季休業中に教職員向けの研修会を開催し、児童・生徒指導や授業改善に関する講演を通じ、小中一貫教育に携わる教職員の資質及び指導力向上を図る。	7月、12月開催予定	

## ➤ 4 学校給食

### 1 特色

#### (1) 食育の推進

地場産食料を活用することにより、子どもが地域を知り、地域の産業について理解を深め、地域に誇りを持てるような「食育」の展開を進めています。また、現在、地元農家などと契約し新鮮な野菜や地元加工品を使用することにより、安全・安心な給食を提供しています。

#### (2) 地元高校との連携による新メニューの共同開発

当別高校家政科と連携し、平成29年度より新メニューを共同で開発しており、年に1回、3～4品を提供しています。それにより、子どもにとっては、地域の高校生の存在感を改めて感じる機会となり、また、高校生にとっては、自分たちの学びの意義を確かめる場となっています。

### 2 給食費

区分	実施回数 (回)	一食単価 (円)	年額 (円)	
小学校	1年	180	44,820	
	2年	187	46,563	
	3年	186・187	255	47,430・47,685
	4年	186・187		47,430・47,685
	5年	185・187	261	48,285・48,807
	6年	184・187		48,024・48,807
中学校	1年	181・186	57,377・58,962	
	2年	177・182	317	56,109・57,694
	3年	174・176		55,158・55,792

### 3 学校給食センターの運営

(1) 学校給食センター運営委員会は、教育委員会の附属機関として11名以内の委員で構成され、学校給食費会計や給食センターの運営に関わる事項について審議しています。

【任期 2年 委員 11名以内(教職員5名、保護者3名、学識経験者3名)】

(2) 調理・配送・配膳業務を北日本フードサービス(株)へ委託しています。(業務従事者26名)

### 4 施設概要

区分	概要
名称	当別町学校給食センター
所在地	石狩郡当別町若葉2224番地
建設年度	平成7年12月完成
開設	平成8年1月(平成7年度3学期)
敷地面積	3,625.00㎡(1,096.56坪)
建物面積	1,098.12㎡(332.18坪)
構造	鉄筋・鉄骨コンクリート造 一部2階建
調理場区分	共同調理場
厨房方式	ドライシステム
調理能力	最大3,000食/日
廃水処理	回転円板方式
厨芥処理	有機廃棄物処理方式
建設事業費	830,386千円
実施状況	1,045食(平成30年5月1日現在)

## ➤ 5 保護者支援制度（学校教育）

### 1 就学援助

経済的理由によって、就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、その就学に必要な援助を行う。

内訳（平成30年度支給額）

（単位：円）

支給費目		小学校	中学校	内 容
新入学児童生徒 入学準備金	入学前	40,600	47,400	入学予定者が入学に必要な通常必要とする学用品及び通学用品（H29～）
新入学児童生徒 学用品費等	1年	40,600	47,400	小学校又は中学校に入学する者が通常必要とする学用品及び通学用品 ※ 入学前に入学準備金を受けた場合は対象外
学用品費（学） 通学用品費（通） 校外活動費（校）	1年	（学）11,420	（学）22,320	各教科及び特別活動の学習に必要とされる学用品（実験、実習教材費を含む）、通学用靴、雨傘等の通学用品に係わる経費及び校外活動に参加するために必要な交通費及び見学科
	2年	（学）11,420 （通）2,230 （校）実費	（学）22,320	
	3年		（通）2,230	
	4年		（校）実費	
	5年			
	6年			
体育実技用具費 小1・4年、中1年のみ	スキー	26,020	37,340	体育授業の参加に必要な体育実技用具（スキー、柔道）
	武道用具		7,510	
修学旅行費		実費	実費	小学校及び中学校で、それぞれ1回参加する修学旅行に直接必要な交通費、宿泊費、見学科料などの経費
生徒会費			実費	生徒会費として負担すべき経費（H29～）
P T A会費		実費	実費	P T A活動に要する費用として負担すべき経費（H29～）
学校給食費		現物支給	現物支給	学校給食に要する食費の全額
医療費		実費	実費	トラコーマ及び結膜炎、白せん、疥せん及び膿痴疹、中耳炎、慢性鼻腔炎及びアデノイド、う歯、寄生虫（虫卵保有を含む）の治療に要した自己負担額

## 2 特別支援教育就学奨励費

小学校及び中学校の特別支援学級に在籍し、就学援助の対象とならない児童生徒の保護者に対し、経済的負担を軽減するため、就学奨励費を支給する。

内訳（平成30年度上限額）

（単位：円）

支給費目		小学校	中学校
新入学児童生徒 学用品・通学用品購入費	1年	20,300	23,700
学用品・通学用品購入費		5,710	11,160
体育実技用具費 小1~3年、4~6年、中1~3年の 各期間に1回	スキー	13,010	18,670
	柔道		3,755
	剣道		25,970
校外活動等参加費（宿泊を伴う）		1,810	3,050
校外活動等参加費（宿泊を伴わない）		785	1,135
通学費		実費又は実費の1/2	実費又は実費の1/2
修学旅行費		10,590	28,335
学校給食費		実費の1/2	実費の1/2

## 3 特別支援学級等通学援助費

小学校及び中学校の特別支援学級・通級指導教室に通学する児童生徒の保護者に対し、経済的負担を軽減するため、通学費の一部を支給する。